

— 北緯 39 度東経 141 度の地点から —

メトロポール

花巻高村光太郎記念館通信 第5号 平成 29年5月26日(金)

新緑の山口で

第60回高村祭

偲んでいます

光太郎先生がここに住まい暮らした日々を



佐藤会長

5月15日(月)、この一年心待ちにしてくださっていた400名の皆様にお集まりいただきました。あいにくの雨模様でしたが、新緑が一層色濃い詩碑前広場での開催となりました。早朝から山口支部の皆さんが準備に汗を流してくださいました。改めて光太郎先生がここ山口で、一人厳しい自然に耐えて生活したことに思いをはせます。今年は、光太郎先生が住んでいた頃の山口の景色がもどってきました。昨年度の市の事業による杉の伐採により山荘周辺の小道も広場も明るくなり、新しくなった智恵子展望台もすぐ近くに見えています。木々の若葉が風に揺れてきらきら輝いています。



上田市長

献花

太田小学校 2年生児童

献茶

花巻東高等学校茶道部生徒

全員による詩碑の朗読

主催者あいさつ

佐藤会長

上田市長

楽器演奏

太田小学校

2年生

「かつこう」

「旧山口小学

校校歌」

詩の朗読

「案内」



詩碑の朗読先導の西南中学校1年生
きっぱりと先導してくれました。

合唱

西南中学校 1年生

「西南中学校

精神歌」

詩の朗読

花巻東高等学校

「元素智恵子」

「人類の泉」

花巻高等看護専門学校

「非常の時」

コーラス

花巻高等看護専門学校

「最低にして最高の道」

「リンゴの詩」

「花巻の四季」



太田小学校2年生 詩「案内」は、振りもかわいらしく一生懸命朗読してくれました。

特別講演

藤原富男氏

(元花巻市文化団体協
議会会長)

講師の藤原先生は旧山口小学校教諭時代に高村光太郎と交流がありました。

職員室で火鉢を囲みながら光太郎先生の話聞いた思い出の数々をお話していただきました。

また、児童を引き連れて山荘周りの草取りをしたところ、逆に怒られてしまったことがありました。光太郎先生は、雑草にも親がおり、命があることを子供たちに話して聞かせたといひます。

藤原先生は、光太郎は彫刻家・詩人・書家など多くの才能や側面を持っているが、そこに「教育者」という面も是非とも付け加えたいと話されました。

光太郎を知る方のエピソードを交えたお話はあたたかく、心むものでした。



「元素智恵子」 智恵子を体内に温かく感じている光太郎の様子が聴き取れました。



「人類の泉」 まさに今の気候に合った難しい詩を深く読み込んでいました。



「非常の時」 医療に携わろうとする読み手の気概がこもったすばらしい朗読でした。



西南中学校精神歌 見事に揃った、さわやかな合唱を披露してくれました。



「最低にして最高の道」 志高い学生の皆さんの歌声は、空に届くようでした。

雨を吹き飛ばす
素敵な出し物でした。

第二部

地域の方々から歌や舞踊の披露がありました。今回は秋田県からの出演者もあるなど、揃いの衣装、お馴染みの曲などで、賑やかに高村祭を盛り上げていただきありがとうございます。



高村祭に先立ち、5月2日(火)地元太田小学校の5年生児童の皆さん23名が、清掃奉仕作業を行ってくれました。光太郎先生への理解を深めながら、ほうきを持つ姿に、この地に根づく光太郎先生の想いが脈々と受け継がれていることがわかります。ありがとうございます。きれいな広場で高村祭ができました。なお、高村祭の運営は記念会山口支部の全面的な協力によります。